

いずみの園そのだより

vol. 78
春号

2020.4.24

事業団だより合併号



信望愛 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最大になるものは愛である。 コリントの信徒への手紙 I13:13

基本理念
神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする
①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)



来年こそは満開の桜の下で...



学校法人 大原学園
大原医療介護福祉専門学校 大分校
介護福祉学科 主任教員
社会福祉法人 九州キリスト教
社会福祉事業団 評議員

可児 勝代

「福祉も・笑いも」人を幸せにする

「笑う門には福来る」ということわざがあるように、昔から日本では、笑いが生活に幸せをもたらすものだと考えられています。笑いには生理的効果・心理的効果があり肉體、精神も健康になることがわかっています。皆さん、毎日笑って過ごしていらつしやいますか？

私は朝目が覚めたら、布団の中で静かにふふふ、鏡を見て、口角を上げるだけで「笑い」のモードに切り替わり、前向きな気持ちになれます。私は「笑いヨガリーダー」と言う資格を持っており、笑いを通して人々の健康や喜びが増えるように、また、世界平和につながるよう願って活動しております。

笑いに言語は関係ありません。母が昔、「笑わな損」「笑えばなんかいいことあるよ」と言っていたのを思い出します。その母は昨年冬、旅立ちました。母の介護を通して私の感じた事は、子育てと介護の苦労は同じだということです。苦勞して私を育ててくれた母の愛に介護と言う恩返しをする。これが親孝行なのだと思いました。生き方とともに死に様まで身をもって示してくれた母。今となつては母のすべてに感謝しています。

母は最後の一年間は施設で過ごしました。そのため、母の「その人らしさ」を輝かせてくれたのは、そばで寄り添う介護スタッフの笑顔と声掛けであったと感じています。ご利用者一人ひとりに光をあてながら、ご利用者や地域も幸せにしていく介護という仕事。私はこの仕事に誇りとやりがいを感じています。

そのなかでも地域の「縁の下の力持ち」としてニーズを的確に捉え活動する「チーム いずみの園」は、周りに笑顔の輪がたえず、本当の介護の形がここにあると実感させられることばかりです。憧れの「いずみの園」に少しでも携われることを嬉しく感じつつ、私も微力ながら、その一員として一緒に取り組んで参りたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

当施設における 感染症への対応について



特別養護老人ホームいずみの園
施設長 市川 朋克



毎年冬の時期、施設ではいろいろな感染症（インフルエンザやノロウイルスなど）への予防が行われます。特に抵抗力が弱い高齢者が罹患すると、高熱や吐物の詰込み等生命にかかわる重大な事故にもつながりかねないため注意が必要です。

特別養護老人ホームいずみの園のご利用者の半数以上は90歳代です。特養などの施設は集団生活ですので感染が広がりやすい状況にあると思います。これまでもインフルエンザ等の感染症の流行に備え、職員の体調管理だけでなく、同居家族の体調管理、面会の方の体調確認、面会の制限、市内の学級閉鎖等の情報の共有を図ったことにより、多くの方のご協力もあり、今冬は施設内にインフルエンザ等を持ち込むことなく、利用者の感染者はゼロで流行期を終了しました。

しかし、今年には新型コロナウイルスが世界的に流行しています。このウイルスは高齢者や基礎疾患がある方は重症化しやすいことが明らかになってい

ます。施設には加齢に伴い感染に対する抵抗力が低下しているご利用者や認知機能が低下していることにより感染対策への協力が難しいご利用者が生活しています。新たな脅威に対して、職員はご利用者の生活を守るために、まずは自分自身と家族を守ること、そして感染症の媒介者にならないために、人が多く集まる場所を避け、こまめな手洗い、手指消毒、マスクの着用、咳エチケットなど、これらの実施と共に正確な情報の収集、展開を行い、感染症に対応しています。

日本国内では2020年4月7日に、福岡県を含む7都府県の緊急事態宣言が出されました（原稿執筆時点）。私たちは、まず「施設内にウイルスを持ち込まない」ことを守っていき、感染リスクを完全になくすることはできないとしても、考えつく予防方法を行い、万が一の場合にも主治医や公的機関との連携のもと、集団生活における感染の被害を最小限にするよう努めていきます。

感染症に対する基礎的な予防、 施設での集団感染を防ぐために



特別養護老人ホームいずみの園
看護課 課長 河野 和樹



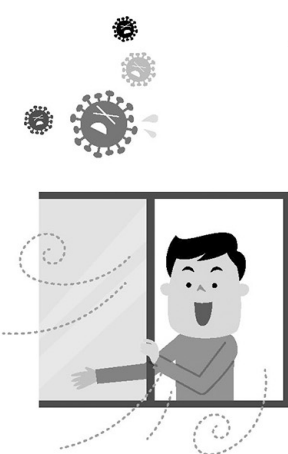
特別養護老人ホームいずみの園には、入所者とショートステイのご利用者、あわせて127名の方が生活されています。その方々に安全で、健康に暮らしていただくために、私たち看護スタッフは介護員や相談員などの他職種と密に連携し日々の業務に取り組んでいます。

冬場は特にインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行する時期であり、また本年は新型コロナウイルスの流行もあり、当施設としても細心の注意を払い、今現在も対応しているところです。

一般的な感染症への標準予防策は「病原体を持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことが基本です。そのために、全職員へ出勤前に自宅での検温、正しい手洗い、うがい、マスクの着用、咳エチケットなどを呼びかけると共に、現場でケアを行う職員へは正しい防護服の着脱や汚染物の適切な処理、居室の環境整備

などについて、指導・助言に心掛けています。特にご利用者の体調の変化には気を配り、「いつもと何か違うのではないか」という視点も含め、どんな小さなことでも介護員から報告してもらおうようにし、日頃よりご利用者の変化を見逃さないように気を付けています。

ひとたび施設内で感染症の集団感染が発生すると、ご利用者の生命の危険はもちろん、勤務する職員やその家族にも危険が及ぶこととなります。すべての感染症への標準予防策を徹底することで、ご利用者と職員の安全を守っていきたくと考えています。



2020年度 事業団・いずみの園事業計画

1. 基本方針 『地域包括ケアシステム、地域共生社会を目指し、福祉のまちづくりへ』

今日の日本の少子高齢化、人口減少社会について「2025年問題」「2040年問題」がクローズアップされています。2025年には団塊の世代（1947～49年生まれ）が後期高齢期に入り、高齢化率は30%を超えて3人に1人が高齢者となります。2040年には2008年の人口ピーク時から人口が1千800万人減って1億1千万人となり、高齢化率は36%を超えます。問題は労働人口が2千百万人減り、高齢者が1千万人増加、社会保障費（年金、医療、福祉・介護）は現在の120兆円から190兆円に増加すると言われていています。そこで国は持続可能な社会保障制度を目指して社会保障改革を進めてきました。

2012年の社会保障・税の一体改革に始まり、高齢者の脱施設、脱病院の地域包括ケアシステム、地域共生社会の実現へと進み、2019年10月消費税率は10%に引き上げられました。さらに国は子ども子育ての新制度や福祉のまちづくりを図り、国民誰もがより長く、元気に活躍できる、全世代型社会保障制度を打ち出しました。①介護予防、認知症予防、健康寿命の延伸②高齢者雇用、多様な就労、社会参加③医療・福祉サービス改革、効率性、生産性、AI、ICT、

ロボットの導入、人材の確保、介護経営の大規模化・経営統合④子ども子育て新制度の創設、育児休業支援⑤給付と負担の見直しなどが挙げられています。

いずみの園は2000年の介護保険制度発足、措置制度から契約制度への大転換には「いずみの園改革3カ年戦略」で乗り切り、2010年には24時間訪問介護、小規模多機能居宅介護事業と地域包括ケアシステムを先駆的に取り入れました。また2012年には「いずみの園新5か年プラン」を策定し、一連の障がい事業を開始、名称も中津総合ケアセンターに改めました。2020年度の基本方針は「地域包括ケアシステム、地域共生社会を目指し、福祉のまちづくりへ」とし、誰もが安心して、住み慣れた地域で最後まで暮らせる地域共生社会、福祉のまちづくり方針をスタートしました。

また昨年度、40年を経過した本館の建築準備委員会を設置しました。地域のセーフティネットとしての役割を果たし、高齢者、障がい者、子どもたちが安心して立ち寄れる福祉拠点、総合福祉センターを目指します。

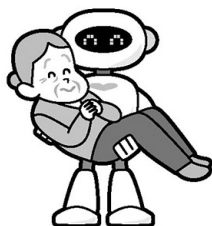
2. 重点課題

①福祉のまちづくり構想

- ・福祉のまちづくりの概要、方向性の研究
内部連携、調整
行政、各界、関係団体との連携、協力
経営企画課、地域公益課の働き
- ・包括的、総合的な相談支援体制の整備
地域包括支援センター、介護保険サービスセンター
基幹相談支援センター、エマオ、リアン
- ・地域公益課 生活困窮者、引きこもり、就労支援
- ・認知症対策 オレンジカフェ 徘徊模擬訓練
- ・子ども子育て支援 子ども食堂

②本館建築準備委員会

- ・建築プログラムの策定
- ・先進モデル施設視察研修
- ・イメージ設計に着手
- ・一級建築士等専門家の協力
- ・AI、ICT、ロボットの研究



③人材確保、働き方改革の推進

- ・WLBの推進
- ・待遇改善の見直し
- ・人材育成・研修センターの働き
高齢者介護補助員 2毛作会
小中学生体験介護教室
- ・外国人介護員雇用の検討



④国際交流、グローバル視点の推進

- ・欧米、アジアとの交流を深めグローバル意識の育成
- ・ソウル（スンシルサイバー大学、韓端大学）、晋州（社会福祉法人道山、国際大学）との相互訪問、人材交流を深め相互の介護、福祉の向上



理事会及び評議員会の開催状況報告

2020年3月に当法人の理事会と評議員会を予定しておりましたが、昨今の新型コロナウイルスによる行政からの要請等を受け、いずれも会議形式での開催を中止し、郵送した書面上でご審議いただく形式をとりました。

審議事項として、第1号議案「2019年度第2次補正予算(案)に関する件」第2号議案「2020年度事業計画(案)に関する件」第3号議案「2020年度予算(案)に関する件」第4号議案「各規程の改正に関する件」第5号議案「2019年度第2回臨時評議員会開催日程及び議案に関する件」以上5議案を書類にまとめ各理事・監事に郵送し、確認していただいた後確認書・同意書に署名して返送していただきました。

同様に評議員会についても、第1号議案「2019年度第2次補正予算に関する件」第2号議案「2020年度事業計画に関する件」第3号議案「2020年度予算に関する件」以上3議案を郵送、確認の後同意書にサインし返送していただきました。全ての同意書及び確認書の返送を確認し、いずれの議案も承認を受けたとして、2019年度の最終となる理事会・評議員会が終了となりました。

(法人本部署務局)

人事関係

2019年12月1日以降

① 異動 役職者

2020年 1月 1日付	植嘉小百合	特別養護老人ホーム	介護課	主任
4月 1日付	河端ハツエ	かきぜサポートセンター	訪問看護課	課長
	野見山 晃	在宅サービス事業部	中津市地域包括支援センター	課長
	前田 真美	かきぜサポートセンター	児童サービス課	主任
	川端 洋美	かきぜサポートセンター	児童サービス課	主任

② 異動 一般職

2019年12月 1日付	三原 萌華	かきぜサポートセンター	かきぜグループホーム	介護員
2020年 2月 1日付	厚ヶ瀬桂子	かきぜサポートセンター	寄り合いセンターいずみ	介護員
3月 1日付	末延 弥生	かきぜサポートセンター	デイサービスかきぜ	介護員
4月 1日付	水嶋 宏恵	かきぜサポートセンター	中央サポートセンター	看護師
	佐藤 弘美	かきぜサポートセンター	訪問看護課	看護師
	大江マリ子	在宅サービス事業部	今津サポートセンター	介護支援専門員

③ 新採用職員

2019年12月 11日付	村上 悦子	聖愛ホーム	調理課	調理員
21日付	前田 亞繰	かきぜサポートセンター	デイサービスかきぜ	看護師兼介護員
2020年 2月 1日付	阿部 悟	総務部	総務課	庶務
3日付	高原加津子	聖愛ホーム	調理課	管理栄養士
10日付	山田 君代	聖愛ホーム	調理課	調理員
11日付	神崎真由美	総務部	総務課・クリニック兼務	事務員
3月 23日付	長谷川佳代子	特別養護老人ホーム	介護課	スポット職員
4月 1日付	市川 洋大	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
	原野 美樹	かきぜサポートセンター	児童サービス課	児童指導員
	三ツ廣雅明	特別養護老人ホーム	相談課	事務員
	出口 房江	特別養護老人ホーム	看護課	看護師
	瓜生 尊巳	共生サービス事業部	いずみの丘グループホームハレルヤ/世話人	
			ワークセンターシャローム/作業員	
	梶原 太志	かきぜサポートセンター	かきぜグループホーム	介護員

(以上2020年4月1日まで)



2019年度献金報告

(敬称略させていただきます)

● 個人・団体の部 ●

赤坂 喜生	江口 浩治	柴原 章子	東島 幸子	山口 貞嘉
秋吉 修次	大塩 進也	伸和建設株式会社	廣安 慎太郎	山下 猛
泉 琉江	大城 朋子	園 眞實	福岡市民クリスマス 実行委員会	山城 順
一粒社ヴォーリス 建築事務所九州事務所	岡本 恵子	竹谷 純恵		山本 朝子
稲益 大希	落合 京子	田崎 哲也	福永 佳代子	山本 一男
伊庭 良枝	加藤 梅子	多田 満	藤本 妙子	横田 静子
今瀬 洋太	加藤 良子	田村 節子	古川 須美子	吉本 フサ子
岩水 風地人	木佐貫 重子	富永 健司	本間 都志輝	吉高 叶
上野 雅明	木村 俊子	長松 洋征	溝部 信子	吉高國彦・美籠
上本 恵子	後藤 和子	野村 一美	宮垣 孝子	渡辺 勝
白木 孝	小西 美智子	野村 京子	宮崎 千枝子	
宇都宮 さゆり	櫻井 芳恵	橋本 初枝	三好 潔治	
梅崎 啓子	佐藤 雅子	花寄 正次	守田 鈴子	
	四熊 フサ	馬場 敬子	安森 万企子	

● 教会関係の部 ●

(教会：大分県内)

宇佐教会
大分教会
中津教会
中津扇城教会
別府不老町教会
三重教会
由布院教会

(教会：九州以外)

岡山信愛教会

(教会：九州)

大牟田正山町教会
北九州復興教会
国分教会
西都教会
錦ヶ丘教会
日本基督教団
九州教区事務所
福岡中部教会
福岡城東橋教会
福岡女学院教会
福岡渡辺通教会
門司教会
門司大里教会

(学校・保育園・幼稚園)

愛隣幼稚園
いずみの園フェスタ
周船寺第二幼稚園

(教会婦人会)

北九州復興教会女性会
小倉東篠崎教会婦人会
福岡中部教会婦人会
門司教会婦人会



献金のお礼

2019年度も当事業団の働きのために多額の尊いご献金を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承の通り、昨今の福祉を取り巻く環境は依然として厳しい状況におかれています。昨年度もなんとか順調に進めることができました。また、いずみの園では2018年に創立40周年を迎えることができましたことも含め、これもひとえに、常日頃ご支援をいただいております皆様のお陰と、関係者一同心より感謝しております。

いずみの園では、社会福祉法人としての公益性、独自性、先駆性を堅持し、障がい児・者事業の取り組みを始め、2013年に障がいのある人の働く場としての就労継続支援A型・B型事業所「ワークセンターシャローム」、2016年8月に生活介護「いずみの丘エステル」そして昨年4月には「いずみの丘グループホームハレルヤ」をそれぞれ開所しました。

今後とも、皆様の絶大なご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2020年4月

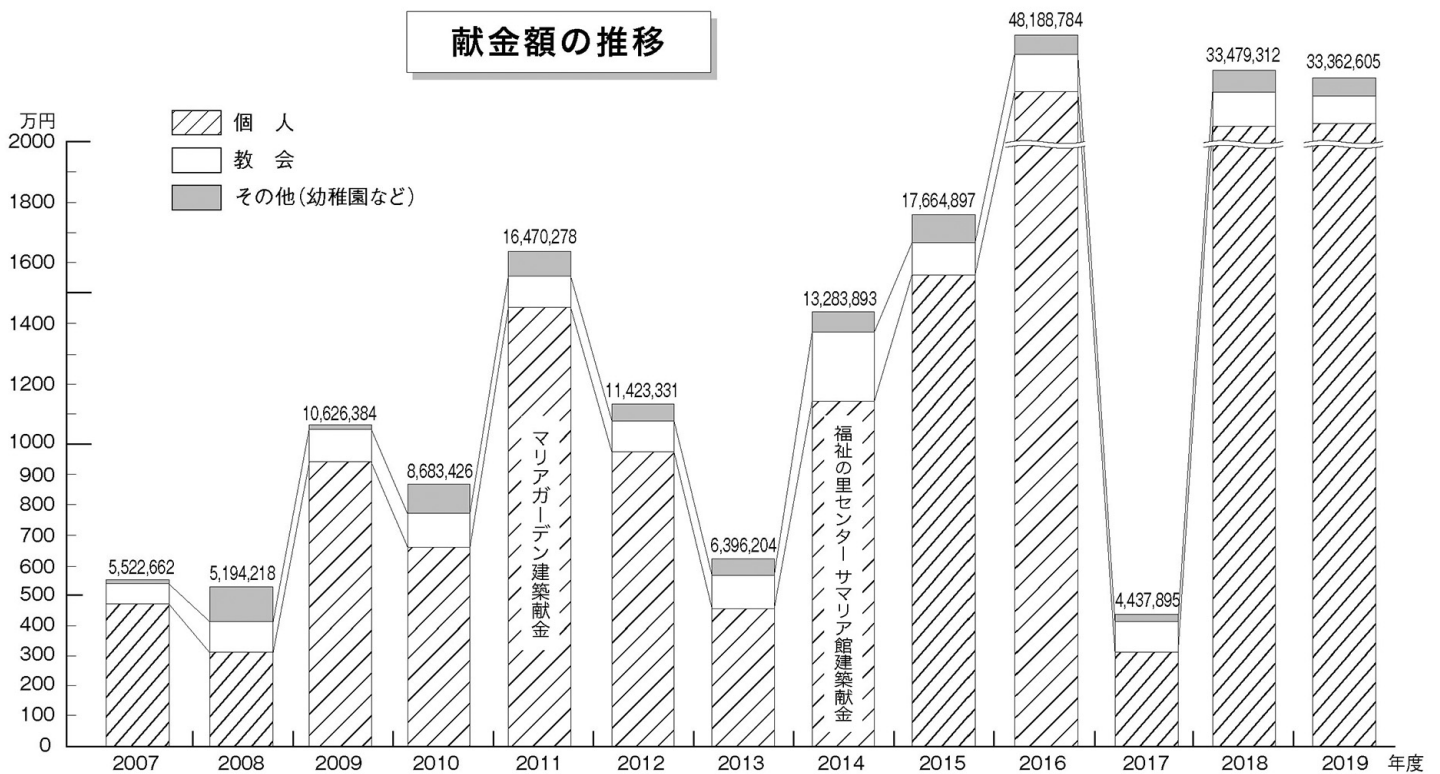
理事長 富永 健司

献金額の推移

単位：円

2007年度	5,522,662
2008年度	5,194,218
2009年度	10,626,384
2010年度	8,683,426
2011年度	16,470,278
2012年度	11,423,331
2013年度	6,396,204
2014年度	13,283,893
2015年度	17,664,897
2016年度	48,188,784
2017年度	4,437,895
2018年度	33,479,312
2019年度	33,362,605

献金額の推移



▼ 献金のご案内 ▲

【献金使途】

- 1 法人のため
- 2 特別養護老人ホームいずみの園のため
- 3 ケアマンション聖愛ホームのため
- 4 めぐみ保育園のため
- 5 グレース保育園のため
- 6 犀川のぞみ保育園のため
- 7 その他

【送金方法】

- ① 現金送金
大分県中津市永添二七四四
いずみの園内
- ② 銀行振込
大分銀行 大貞支店
口座番号 普 6379
- ③ 郵便振替口座払込
ゆうちょ銀行
口座番号
01750・8・130861

【名義】

社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団
理事長 富永 健司
(この寄付金は所得税法及び法人税法により税の控除の対象となります)



ケアマンション
聖愛ホーム

ホーム長 尾崎 正史

聖愛ホームは今年開設25周年を迎えます。



春の桜と聖愛ホーム

2019年度は、4名の入居者が住み替え等の理由により退居、そして新たに4名の方が入居されて現在平均年齢が84・2歳、64歳から99歳までの入居者50名が生活されています。いずみの園には様々な生活を支援するための介護サービスがあり、入居者のニーズに合わせ必要な時に必要な分だけのサービスを受けることが出来ます。そのことにより聖愛ホームで安全で自立した生活の継続が可能となります。これからの必要に応じて住み替えの支援をしながら、入居者の皆様の安全で安心な生活を支えていきたいと思っております。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっており、高齢者施設においても大きな不安を抱えながら日々過ごしております。尊い命を守る為に、私たちに出来ることを入居者の皆様と共に、知恵を出し合いながら取り組んでおります。世界中の人たちが目に見えないウイルスと闘い、命を守る為に頑張っています。1日も早い収束を祈りつつ、聖愛ホームの中では笑顔絶やさず、今できること、感染拡大予防に力を注ぎ、入居者、職員の健康で穏やかな生活を願っています。

めぐみ保育園
(大分東教会)

園長 大継 徹朗

皆様方のお祈りとお支えによって2019年度を主の恵みのうちに終えることができました。昨年度は21名の卒園児を小学校に無事送り出しました。

九州教区の祈りによって大分東教会が誕生し、現在地(大分市花高松)に保育園が開園して53年になります。2020年度も新入園児が与えられ、新たな思いで新年度の歩みを始めることが出来ました。

保育園を取り巻く環境はここ数年のうちに変化を迎えました。職員不足のため、本園に入園希望の家庭があっても思うように入園できないような状況が続いていますが、元のように新しい職員が与えられて毎日の保育の業に更に勤しむことができるよう願ってやみません。事業団に属する諸施設と共にめぐみ保育園を覚えて、これからも祈りによってお支えいただけましたら幸いに存じます。

今年度も神を信じ隣人を愛する気持ちを忘れずに、地域における子育て支援のために職員一同、力を尽くして参りたいと思っております。

2020年度も宜しくお願ひ申し上げます!



女関先で集合写真

犀川のぞみ保育園
(犀川教会)

園長 池上 信也

昨年度は36名で始まり43名で終えました。



おべんとうバスがやってきた

3月末に7名が卒園、2名が退園し、4月に新入園児2名を迎えて、今年度も36名でスタートしました。

昨年度を振り返ると、少子化の中にあつた5年連続で定員を超える園児を受け入れることができました。また、求人難の中ですが職員も17名と、これまでで最も多くなりました。ただ現場経験の浅い新人を複数迎えて、保育が噛み合わなかったり空回りしたりという場面も少なからずありました。今年度は1名が退職して職員16名になりましたが、各自が経験を積んでスキルアップしていけると信じます。

それよりも2月頃からの新型コロナウイルスによる影響が心配です。学校は休校になっても保育園は続けていますが、様々な行事に影響が出ています。けれども、こんなときこそ福祉の働きが必要ですね。一日も早く終息が見えるように祈りつつ、感染に充分注意しながら、日々子どもたちに向き合って使命を果たしたいと思っております。

グレース保育園
(中津教会)

園長 廣安慎太郎

3月20日、第46回卒園礼拝がもたれ、25人の園児がグレース保育園を卒園しました。今年度は新入園児25人を迎え、新年度がスタートします。新年度の年主題は「こころが満たされる」(ローマ信徒への手紙15章13節)と掲げました。子どもたちの心が平安と愛で満たされるために何が必要でしょうか。「まなざし」「ふれあい」「愛されている、大切にされている実感」が、こころを満たしてまいります。

「心」は教育というより、沢山の愛情を受けて育まれるものです。自分を無条件に愛し受け入れる人が回りにたくさんいることは、育ちの大きな力になります。

神様の愛・保護者の愛・保育者の愛が、子どもたちの心に豊かに注がれることによって、グレース保育園の集団生活は豊かになっていくと信じています。愛で満たされた子どもたちが、平和を実現していく人に育つことを願っています。キリストの平和が子どもたちの心のすみずみにまでゆきわたりますように、神様の恵みを感じながら保育・神様の愛を感じる保育を行いたいと思っております。

いつも、グレース保育園をお支え下さりありがとうございます。ごさいいます。



キリスト教保育を実践しています

職員さんに聞いてみよう!

理学療法士

さんに聞いてみた!!



特別養護老人ホーム
リハビリ課 課長
高倉 哲也

第3回 「ノーリフティングケア」 業務環境改善について

数年後にこの記事を読み返した時に、「ああ、そんな時期もあったなあ」と思えるような希望を込めて、この冒頭挨拶…。現在猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症が早く収束することを願います。

さて、3回目となるノーリフトシリーズ、今回は「ノーリフティングケア」について触れさせていただきます。混同してしまいがちな内容なので、先にお伝えしておきます。

ノーリフトとノーリフティングケアは別物です。くどい様ですが、「ノーリフト」は腰痛予防対策（基本方針）であり、「ノーリフティングケア」は腰痛予防対策を含めた介護（具体的手段）となります。以下に腰痛予防防

策を含めた介護についていくつか列挙します。

- イ. ボディメカニクス
- ロ. ボディコントロール
- ハ. ボディメンテナンス
- ニ. 福祉用具ケア
- ホ. 業務環境改善
- ヘ. e t c .

いくホ全てを紹介したいのですが、一日かけても終わらないような研修会になりますので、今回は私が最も重要であると考えている「業務環境改善」に焦点を絞ってお伝えします。

腰痛原因となる不良姿勢を作る業務環境をマネジメントするのも大切な予防対策となります。しかしこれがルーチンワークに埋もれて、見逃しがちな環境課題となり、その抽出が大変難しい作業になるのです。これから紹介する事例は、ある日ユニット職員から相談のあった環境課題に対して取り組んだ経過・結果について要約して紹介します。

「課長…。汚物洗い便器（以下ピット）が低くて、腰が痛くなるので何とかありませんか？」

介護課主任から相談を受けた内容です。ピットと業務風景をご覧ください。

（ページ右下の写真へ）

試作品：研究室イメージ

…作ってみたものの、大袈裟すぎて職員から受け入れられないと想起し断念しました。

その後も、職員へのモニタリング・現場検診・ホームセンター巡りを繰り返しながら、ようやく「これだ!!」と思えるアイデアにたどり着きました。



（隣のページへ）



見るからに過酷極まりない姿勢です。さてどうしたものか…。これから約3か月間ノーリフト担当者で頭を悩ませ、色々な対応を試行していきました。

ピットカバー作成

ホームセンターでピット幅とピッタリのガーデニングカーゴに会い、底面を庶務職員に切断してもらい、はめてみたところ、ジャストフィット！便器水流にも干渉せず、何より高い位置で洗ってもとびちる水滴をカバー壁面がしっかりキャッチしてくれました。



蛇口作成

ピットカバー設置により蛇口高が合わなくなったことに対しては、庶務職員に相談し蛇口をノズル式ヘッドに変更してもらいました。



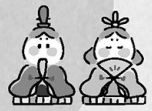
今回の取り組みは割と大がかりな課題解決策となりましたが、環境・業務改善はちょっとした変更で直ぐにでも改善につながるものもたくさんあると思います。大切なことは、不良姿勢を良しとせず、要改善という意識を全員で持つことだと考えています。自分の職場環境・業務内容、身近なところからでも取り組んでみて下さい。

次回は、今回に引き続きノーリフティングケアについてお伝えします。

完成!

見たらわかる前傾姿勢の改善!!





「特別養護老人ホームいずみの園」でひな祭りを行いました。



お雛様飾りの前で記念撮影

(介護課)

3月3日(火)「特別養護老人ホームいずみの園きぼう館(本館)」にて「ひな祭り」を行いました。特養きぼう館にあるお雛様の前で、ひなあられや桜もちなどのお菓子を準備し、ご利用者の皆様に召し上がっていただきました。ご利用者より「お雛様きれいに飾り付けているね」「かわいいね」と感想をいただきました。今年はささやかな「ひな祭り」でしたが、皆様と一緒に行うことができ良かったです。

「ひな祭り」の由来は諸説あるようですが、女子の「人形遊び」と節物の「節句の儀式」とが結びつき、全国に広まり飾られるようになり、「この遊びである「雛あそび」が節句としての「ひな祭り」へと変わったという説もあるようです。



ご利用者の皆様と河津桜を觀賞しました。

2月20日(木)「生活介護いずみの丘エステル」のご利用者4名と職員3名で、豊前市の静豊園に河津桜を觀賞しにいきました。

桜は8~9分咲きくらいで見頃を迎えており、一足早い春の訪れを感じました。青空にポカポカ陽気で絶好のお花見日和、出店を横目で気にしつつ…河津桜を楽しんでいました。

(いずみの丘エステル)



ご利用者と桜



かきぜdeキッチン(子ども食堂)を行っています。

当日の様子



かきぜdeキッチン
2020.2.15

昨年の7月よりスタートした共生型子ども食堂の「かきぜdeキッチン」ですが、2020年も多くの皆様にお越しいただいております。毎月第3土曜日に開催していますので、参加を希望される方は是非一度お問い合わせ下さい。(現在のところ、コロナ問題で開催を見合わせています。)

(かきぜサポートセンター)

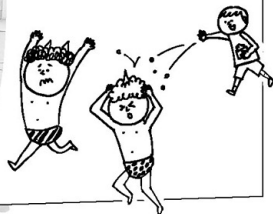
マリアガーデン節分行事!

「事業所内保育施設マリアガーデン」の子どもたちのところに、怖い怖い鬼が…。鬼の正体はもちろんいつもお世話をしてくれる先生です。2月3日(月)に、節分の豆まきを行いました。小さい子たちは必死の形相で泣き叫び、年長のお友達は慣れた様子

で鬼に豆をぶつけていました。

(マリアガーデン)

鬼さん迫真の演技



ご利用者のご家族から手作りマスクをいただきました。

中津市万田にあるデイサービス「中央サポートセンター」は、感染防止として送迎時にもマスクを着用しています。送迎時にご家族から「マスクが不足していることをテレビでよく目にします。毎日大変な思いをされて送迎されている姿を見て、よかったら使ってください」と手づくりマスクをいただきました。



いただいたマスク

普段は備蓄しているサージカルマスクを使用していますが、あたたかいお言葉を添えた手作りマスクは、今後大切に使用させていただきたいと思います。(中央サポートセンター)

ここでは、各事業所の
“魅力”や“こだわり”を
紹介します。
いずみの園の内側を
少しでも知っていただければ
幸いです。



新/連/載

私たちの魅力



Vol.1

いずみの園 事業所内保育施設 マリアガーデン

開園日：2012年4月2日 定員：10名
お預かりする乳幼児の範囲：0歳児～就学前まで

利用している
職員よりひとこと
マリアガーデンがあるので
育休後、無理なく復職する
ことができました。
子どもの顔が見える距離で
仕事ができるので安心です。



「マリアガーデン」は、いずみの園の福利厚生の一環として2012年に開設された、いずみの園の職員を対象にした保育施設です。職員のワークライフバランスの向上を目指し、産休・育休を取得した後も、子育てと仕事の両立ができるようにとオープンしました。「マリアガーデン」では、「愛と平和」をテーマに子どもたちの保育に取り組み、季節の行事や食育などを通して子どもたちの健全な育成に努めています。また、高齢者や障がい者の施設が併設されているという独自の環境を活かし、ふれあいの機会を積極的に設けています。一般の保育施設等では得ることのできない様々な経験は、子どもたちの健やかな成長の一助となると考えています。

中間管理職講座、ワークライフバランスの取り組みについて

と考えてお
りま
す。
に取
り組
んで
いま
いで
きた
い
環
境の
改善
なが
ら職
場
な工
夫を
し
め、
様
々
がで
きる
た
こと
幸福
に働
き
続け
るこ
と
が少
しで
も
現在
日本
は空
前の
売り
手市
場、
どの
業
界・企
業も
働き
手不
足が
深刻
な問
題と
なっ
てい
ます。
働く
場所
を探
して
いら
っし
や
る方
に「
いず
みの
園」
を選
んで
いた
だく
ため
に、
そし
て今
「い
ずみ
の園
」で
働い
てい
る職
員
が少
しで
も
幸福
に働
き
続け
るこ
と
がで
きる
た
め、
様
々
な工
夫を
し
なが
ら職
場
環境
の改
善
に取
り組
んで
いま
いで
きた
い
環
境の
改善
なが
ら職
場

また、2月に大分労働局の雇用機会均等室から2名の方に講師としてご来園いただき、「働き方・WLBについて」というタイトルで主任以上の職員を対象に、中間管理職講座を実施しました。研修では様々なグループワークやアクティビティが用意され、最後まで楽しんで講義を受けることができ、ワークライフバランスについて考えるきっかけとなりました。

中津総合ケアセンターいずみの園では、2017年から独自に「働きがいアンケート」を策定し、職員に調査を実施しました。これは2019年度も継続して実施しており、今年が3回目の実施となりました。「残業」「福利厚生」「上司との関係性」など20の項目についてアンケートをとり、それを100点満点で数値化、2017年度から3年間の数値の変化を計測し徹底的に「見える化」することで、職場環境等の改善に役立てています。



講座の様子(WLBかるた)

いずみの丘グループホームハレルヤが1周年を迎えました。

2019年4月に開所した「いずみの丘グループホームハレルヤ」が、はれて1周年を迎えることができました。

「ハレルヤ」では、障がいのある方に地域で自立した生活を

提供するためのお手伝いをする定員7名の共同生活援助事業と、ご家族やご本人の状況により利用する定員1名の短期入所事業を行っています。現在は7名の方が、これまで保護者の方等が行っていた洗濯や掃除などを、必要な支援を受けながら自分たちで行い、自立した生活へ向けて日々過ごされ、日中は元気に仕事に通っています。お休みの時には、クッキングや花壇づくりなどの環境整備をしたり、地域活動支援センターへの余暇活動に参加したり、一人で買い物に出かけたりとそれぞれの過ごし方をされています。これからも入居者の方が安心して、楽しみながら生活することができるよう引き続き支援させていただきます。

(共生サービス事業部)



ご利用者の日常風景(洗濯)



ご利用者の日常風景(掃除)



ご利用者の日常風景(環境整備)

いずみの園だより

編集・発行 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 中津総合ケアセンターいずみの園 〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 (代) <http://www.izuminosono.jp> E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

#いずみの園photo

いずみの園で「Facebook」「Instagram」に掲載した写真を紹介していきます。



庶務の辛島さん♡



児童クラブ 四つ葉のクローバー



ヘルパー 職員研修



敷地外の立て看板と桜並木



特養 ご利用者誕生日会



ヨハネー番地 職員一同
りほでもお元気で
今一番「いいね」を稼いでいる投稿です



Facebook



Instagram



FacebookやInstagramの「いいね」「フォロー」お待ちしております！スマートフォンの方は上記のQRコードから読み込ませてください！



編集後記

回春(かいしゅん)
この回春という言葉は、そもそもその意味は再び春が巡ってくること、そこから転じて病気が治ることや若返ることなどを表した言葉です。原稿執筆時点では、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、未だに事態収束の糸口は見えず、いずみの園の周辺でも多くの行事が取りやめ、もしくは延期となりました。そういったことから、今年の春は例年にはない異常事態を経験することとなりました。暦の上では間もなく夏となりますが、この混乱した情勢の一刻も早い回春を願っています。
最後に、このウィルスによりお亡くなりになった方が安らかな眠りにつかれることを願うと共に、現在罹患されている方の一刻も早い快復を心よりお祈り申し上げます。(義)

2020年辞令交付式、新入職員入職式、新採用職員研修が行われました。

4月1日付で異動となった役職者、昇格となった役付以上の職員への辞令交付式と、新採用された職員の入職式が4月1日(水)8時30分から行われました。富永理事長より各自に辞令が渡され、参加した職員への激励の挨拶がありました。
その後会場を移動し、新採用となった職員対象の研修が9時より行われました。研修では富永理事長、訪問看護課の河端課長、聖愛ホームの橋田課長がそれぞれ講師を務め、いずみの園の理念、感染症について、防災について講義をしていただきました。
辞令交付式は座席間の距離を十分に取って、例年よりも短縮した形で実施いたしました。また本来であれば研修は数日に渡って行われますが、規模を大幅に縮小し、1日限りの実施となっております。
(総務部)



参加者はマスクをつけたまま参加しました